

令和2年 飲酒運転による事業用自動車重大事故・法令違反状況

東北運輸局

番号	発生年月	発生場所	事故等の種類	事業の種類 (管轄支局)	事案概要
2-1	R2.4	岩手県	酒気帯び 衝突事故	トラック (宮城県)	高速道路を走行中、ハンドル操作を誤り中央分離帯に衝突した。自走できたことから高速を降り近くの道の駅に車両を退避したところ、事故の通報を受けた高速隊に発見され酒気帯び運転が発覚した。
2-2	R2.4	宮城県	酒気帯び 路外逸脱	タクシー (宮城県)	運転者が町道において酒気帯び状態にてタクシーを運転し、道路脇で脱輪する事故を起こしその場に車両を放置し去ったが、同日警察に逮捕された。
2-3	R2.4	山形県	酒気帯び 路外逸脱	トラック (山形県)	運転者が酒気帯び状態でトラックを運転し、進行方向右側の水田に落ち運行不能となった。警察の現場検証の際に酒気帯び運転で検挙された。
2-4	R2.5	静岡県	酒気帯び 衝突事故	トラック (福島県)	運転者が酒気帯び運転で大型トラックを運転中、他の車両に追突する事故を起こした。事故の通報を受け現場に到着した警察官により酒気帯び運転であることが確認された。
2-5	R2.5	秋田県	酒気帯び	トラック (岩手県)	道の駅で休憩しようとしてICを降りた際、検問中の警察官より酒の匂いがするとされ、呼気検査を実施したところ基準値を超えるアルコールが検出された。
2-6	R2.7	新潟県	酒気帯び 路外逸脱	トラック (青森県)	運転者は市道を走行中、路外逸脱する事故を起こしたところ、現場付近をパトロール中の警察官により酒気帯び運転が確認された。
2-7	R2.7	福島県	酒気帯び 衝突事故	トラック (青森県)	運転者が港湾道路を走行中、居眠り運転により金属製ゲートに衝突する物損事故を起こした。現場に駆けつけた警察が運転者に対してアルコール検査を実施したところ、基準値以上のアルコールが検出された。
2-8	R2.7	岩手県	酒気帯び	トラック (岩手県)	運転者はコンビニで休憩後、運行を開始し敷地を出たところで警察官により酒気帯び運転が確認された。
2-9	R2.7	埼玉県	酒気帯び 衝突事故	トラック (山形県)	運転者は国道を走行中、ガードレール等に衝突する事故を起こした。その後、国道上で停車していたため不審に思った警察官により酒気帯び運転が確認された。
2-10	R2.8	山形県	酒気帯び 衝突事故	トラック (秋田県)	運転者がコンビニで駐車時に屋外灯に接触する事故を起こし、駆けつけた店員が問い詰めたが現場からいなくなった。警察経由で事業者へ連絡が来たことから、運転者に現場へ戻るように指示した。その後、事情聴取を受けたところ、基準値を超えるアルコールが検出された。

※この他、(公財)交通事故総合分析センターの統計によると、宮城県内の貨物軽自動車運送事業者による飲酒運転事故が1件発生したことが判明しているが、事業者名等の特定に至っておらず、発生状況は明らかになっていない。